

プログラミング支援ツール NP4H-SEDBV3 バージョンアップについて

1. 対象機種

IEC61131-3 準拠プログラミング支援ツール SX-Programmer

形式	品名	最新バージョン	バージョンアップ時期
NP4H-SEDBV3	Expert (D300win)	V3.4.3.0	2007年11月

2. バージョンアップサービスの概要

ホームページからのバージョンアップサービスは、旧版の Expert (D300win) をお持ちの方を対象として、アップグレード機能を用いて最新の Expert (D300win) 使用環境を提供します。

ホームページからのダウンロードにより、最新の Expert (D300win) を容易に取得できます。

SX-Programmer Expert (D300win) V3.4.3.0 用アップデートファイル : ExpertUpdateV3430.exe

3. 最新バージョン V3.4.3.0 の主な変更内容 (2007 年 11 月)

(1) 通信設定の COM ポート数を 256 ポートに拡張しました。

(2) SPH200 対応機能の拡張

SPH200 のシステムプロパティに、構成チェックの待ち時間モードを「構成一致待ち／指定時間待ち」から選択可能とする機能を追加しました。

4. 主なバージョンアップ履歴

(1) V3.4.2.0 (2007 年 8 月)

① ボードコントローラ対応機能の拡張

- ・ ボードコントローラの CPU パラメータに、高速入力コネクタへの信号の論理を立ち上がりエッジ／立ち下がりエッジから選択可能とする機能を追加しました。
- ・ ボードコントローラの CPU パラメータの簡易 CPU リンク機能に、リンク局番を外部から設定する機能を追加しました。
- ・ ボードコントローラのカレンダー情報に曜日データとカレンダー書き込み要求を追加しました。

② 故障診断機能の改良

SPH300 の故障診断機能に、故障状態を自動解析して表示する「故障解析」機能を追加しました。

(2) V3.4.1.0 (2007 年 5 月)

① SPB の「バッテリー異常検出しない」モード対応

SPB の CPU パラメータに「電池異常検出」の項目を追加しました。

② モニタ値表示の改良

10 進表示に「ゼロサプレスあり」、実数表示に「標準の小数点表記」の表示機能を追加しました。

(3) V3.4.0.0 (2007 年 2 月)

① 基本機能改良

変数エディタの EXCEL 連携、変数プロパティダイアログ、クロスリファレンス自動更新、プロジェクト比較、ウォッチウィンドウへの配列／構造体登録の、各機能を改良しました。

② ラダーエディタの機能改良

左母線の整列、ワークシート分割、回路コメントジャンプの、各機能を改良しました。

③ SPH300 ユーザ ROM 運転なしモードへの対応

④ SPH2000 冗長化 CPU モジュール (NP1PM-256H) 対応

⑤ V3.3.7.1 の不具合修正

グローバル変数シートの容量が大きい場合、クロスリファレンスの作成を実行すると Expert が強制終了することがある不具合を修正しました。

(4) V3.3.7.1 (2006年12月)

① V3.3.7.0の不具合修正

SPH200 または SPB に対してプロジェクトをダウンロードすると、アプリケーションエラーになる不具合を修正しました。

(5) V3.3.7.0 (2006年11月)

① ボードコントローラ Tリンクオプションカード対応

(6) V3.3.6.0 (2006年10月)

① IPアドレスリスト ネットワーク機器検索機能

IPアドレスリスト機能にネットワーク機器検索を追加しました。

② ZIPファイルのオフライン保存機能

ZIPファイルをパソコンのディスクに保存する機能を追加しました。

(7) V3.3.5.0 (2006年8月)

① サーボシステム FALD IC ALPHA 5 対応

② V3.3.4.1の不具合修正

SPH300EX 以外の機種にて、変数名の最後が ' _E' のグローバル変数を AT 指定するとコンパイルエラーになる不具合を修正しました。

(8) V3.3.4.1 (2006年7月)

① 高性能 CPU モジュール SPH300EX 対応

② V3.3.3.0の不具合修正

SPH2000 (NP1PM-48E/256E) にて、FTP アクセス機能が使用できない不具合を修正しました。

(9) V3.3.3.0 (2006年5月)

① パスワード機能の拡充

前バージョンで追加した、PLCオンライン操作の制限設定機能に対し、ユーザにてアクセス制限範囲を設定する機能を追加しました。パスワードによって制限される機能はアクセスレベルごとに設定できます。

② クロスリファレンス付きラダープログラム印刷機能追加

プロジェクト印刷機能にて、クロスリファレンス情報をプログラム印刷ページと同一ページに印刷する機能を追加しました。

③ 変数定義ダイアログの設定改善

変数定義ダイアログにて、グローバル変数グループの指定方法の「ワークシートの全変数を表示」機能のデフォルト状態を「設定有り」に変更しました。

④ 変数情報のツールチップ表示

ワークシート上に各変数のデータ形、初期値、コメントなどをツールチップ形式で表示します。

(10) V3.3.2.0 (2006年1月)

① パスワード機能の拡張

PLCオンライン操作の制限を設定する機能を追加しました。

本機能を使用してアクセス認証用パスワードを設定することにより、PLCへの操作をレベル1、レベル2、レベル3、の3段階で制限することが可能となります。

② 変数表示モードの一括リセット 設定

LD/FBDワークシートにおける変数表示モードを一挙動でデフォルト設定に戻す機能を追加しました。

③ SPH300 ファームウェア対応 (V**65)

- ・ 縮退立上げ時間短縮機能
- ・ 強制設定状態継続運転

(11) V3.3.1.0 (2005年11月)

① ボードコントローラ対応

- ・ システム支援機能の追加

システム構成、CPU動作定義、CPUメモリ割付、高速カウンタ設定、RS485設定

- ・ オンライン機能の追加

コントロールダイアログ、パスワード機能、デバッグ機能、メモリ転送

(12) V3.3.0.0 (2005年8月)

①システム定義 未実装操作の改良

1クリックでモジュールの実装/未実装を切り替えることが可能としました。また、未実装一括設定機能の1クリック操作により、構成ツリー上で選択されているモジュールとその階層下のモジュールを一括で未実装に設定または設定解除することができます。

②SPH2000対応

新系列CPUモジュールSPH2000に対応しました。

(13) V3.2.1.0 (2005年6月)

①製品名称の変更

従来の名称「D300win」より、「SX-Programmer Expert(D300win)」に名称を変更しました。

②変数エディタの変更

Microsoft Excelとの連携、編集操作の改良、変数の一括挿入等の改良をしました。

③プロジェクト編集の改良

圧縮プロジェクト(ZWTファイル)の解凍、プロジェクトツリーエディタの機能改良をしました。

④印刷機能の改良

プロジェクト印刷のページ指定印刷、変数ワークシートの折り返し印刷を追加しました。

⑤SPH300 I/O領域拡張への対応

SPH300 (V**64以降)のI/O領域拡張機能に対応しました。

(14) V3.2.0.0 (2005年4月)

①カーネル機能のバージョンアップ

- ・変数定義ダイアログの改善
- ・ファンクション/FB定義ダイアログの改善
- ・変数ワークシートの操作改善
- ・POUグループ機能の追加
- ・サンプリングトレース機能の拡張
- ・メッセージウィンドウの改善

②プロジェクト履歴機能

ダウンロード成功後 (POU変更含む) プロジェクトの履歴を保存する機能を追加しました。

③故障診断機能の改良

詳細RASに表示されるメモリダンプ表示の一部を文書表示します。

(15) V3.1.4.0 (2004年10月)

①プロセッサリンクモジュール最大構成数拡張対応

プロセッサリンクモジュール (Plink、FL-net など) の最大構成数を8台へ拡張しました。

②システム定義の設定追加

システム定義のシステム動作定義設定に「CPU”0”なしシステム立上げ」設定を追加しました。
システムプロパティのシステム縮退立上げ動作定義に「拡張設定」を追加しました。

(16) V3.1.3.0 (2004年8月)

①SPH CPUボード サンプリングトレース機能対応

サンプリングトレース機能を実装したCPUボード (NP3PS-SX1PCS74 V**63) へ接続時、高精度サンプリングトレースが起動するよう対応しました。

(17) V3.1.2.0 (2004年5月)

①8kステップPOU対応

SPH300 (V**62以降)のPOU 8kステップに対応しました。

②SX制御ユーティリティの改良

メッセージマネージャによるオンライン接続に対応しました。

これにより、Expert (D300win) と制御ユーティリティが、同一ポートでの同時通信が可能になります。

(18) V3.1.1.0 (2003年12月)

- ①サンプリングトレース対応
SPH300 (V**61以降)のサンプリングトレース機能に対応しました。
- ②オンライン機能の改善
故障診断機能において、システム重故障集約情報に表示されるPOU番号に対応したPOU名を表示するように改良しました。

(19)V3.1.0.0 (2003年6月)

- ①小形PLC SPB対応
SPBのIEC61131-3準拠プログラミングを可能としました。
- ②SPBシステムソフトウェアの更新
SPBの基本ユニットのシステムソフトウェア(ファームウェア)をSXモード(IEC61131-3準拠言語)に更新できます。
- ③SX制御ユーティリティの機能追加
データ編集機能を拡張し、時間形、文字列形を追加しました。
バックアップファイルの読み込み、編集機能を拡張し、タブ区切りテキスト形式を追加しました。

(20)V3.0.0.0 (2002年12月)

- ①新ラダーエディタ
ラダーワークシートの表示/編集を行うラダーエディタを、従来のフリーレイアウト形式から、グリッド枠固定形式に改良しました。これによりキー操作でのプログラミングが容易に行えます。
- ②変数ワークシートのテーブル化
変数ワークシート(ローカル/グローバル)が表形式となり、変数の整理がし易くなります。
- ③プロジェクトのプロテクト機能の追加
プロジェクトに対するパスワードによる木目細かいプロテクトが可能となり、セキュリティ性が向上します。
- ④故障診断機能の改良
構成情報を確認しながら故障情報を解析できるため、故障診断が容易となります。

5. 従来品との互換性

今回のバージョンアップによるプログラムの互換性は下表の通りです。

	旧バージョンで作成のプログラム	V3.4.3.0で作成のプログラム
NP4H-SEDBV3 旧バージョン	○	△
NP4H-SEDBV3 V3.4.3.0	○	○

新バージョンの機能を使用したプログラムは、旧バージョンのExpert(D300win)では非互換が発生します。

6. バージョンアップ方法

- (1)パソコンのハードディスクに任意のフォルダを作成します。
- (2)作成したフォルダにV3.4.2.0用アップデートファイル「ExpertUpdateV3430.exe」をダウンロードし保存します。
- (3)ファイルをダブルクリックします。(アップデートファイルは自己解凍型圧縮ファイルです)
- (4)作成したフォルダ内にファイルが解凍されます。
- (5)解凍したファイルの「Setup.exe」をダブルクリックします。
- (6)インストーラの指示に従い、インストールを行います。
- (7)インストールが終わったらExpert(D300win)を立ち上げ、「ヘルプ」メニューの「情報」にて、バージョンがV3.4.3.0になっていることを確認します。

プログラミング支援ツールのバージョンアップは、『Fe library』のページからダウンロードできます。

Fe library ENTER